

ほけんだより

令和4年8月

青梅みどり第一保育園

7月以降、新型コロナウイルスの感染者数が日々増えています。私たちにできることは、今まで通りの感染対策です。マスクの着用、手洗い・うがい、不要の外出を控える、三密を避ける、体調が悪い時は自宅で安静に過ごし必要時受診する、そしてワクチン接種です。



新型コロナウイルスの変遷

2020年から始まってパンデミックを起こしたコロナウイルスですが、武漢株、アルファ株、ベータ株、デルタ株、オミクロン株へと変異を続けてきました。今年の1月に国内で流行したオミクロン株はBA.1と呼ばれる株です。その後BA.2（ステルスオミクロン株）へ。今現在、全国各地で過去最高の感染者数を更新する第7波の主な原因はBA.5。更に心配なこととして感染者の中にBA.2.75（俗称ケンタウロス）が確認されていることです。第7波のピークアウト前にBA.2.75による第8波が起こる可能性もあるそうです。BA.2.75はBA.5より約3倍も感染力が高く、ワクチン接種でできる免疫をすり抜ける恐れがあることを指摘され、世界中で警戒を強めています。

日本における感染症情報

現在、この季節に流行する手足口病、ヘルパンギーナ、RSウイルス感染症が流行しているようです。感染性胃腸炎も流行していますが今は少し減少傾向だそうです。

保育園における感染症状況

7月に入って2階のクラスでは、発熱や咳でお休みする子が多くいました。今は1階のクラスで水様便、下痢便、軟便など胃腸炎でお休みしている子が多いです。

感染性のある病気と診断された場合、
保育園にお知らせください。



サル痘（急性発疹性疾患）情報

WHOはサル痘ウイルスによる感染拡大に伴い7月23日緊急事態宣言を出しました。日本では7月25日に国内初（東京）のサル痘感染者が確認されました。サル痘ウイルスに感染すると発熱、頭痛、リンパ節腫脹、筋肉痛などの症状の後、発疹が出るのが特徴だそうです。感染経路はネズミやリスなどサル痘ウイルスに感染した動物に噛まれた時、感染した人の発疹などに接触した時、近距離で飛沫（つば）を浴びた時などだそうです。マスクの着用、手洗いやアルコール消毒が、感染予防に有効なようです。今後の動向に注視していきましょう



虫刺され

蚊に刺されると、かゆくてつらいだけでなく、かきこわして傷口が化膿したり、「とびひ」になったりすることもあります。蚊に刺されたら、早めのケアが大切です。

油断大敵!



石けんで洗いましょう

刺されたところを石けんで洗って、かゆみのもとを洗い流します。水で冷えてかゆみも軽くなります。

かゆみを和らげましょう

かゆがるときは、ぬらしたタオルや保冷剤で冷やしたり、かゆみ止めを塗ったりしてケアします。

かゆみやはれがひどいときは皮膚科へ

刺されたところが強くはれたり、皮膚がじゅくじゅくしたりするときは、皮膚科を受診しましょう。

